

2003年7月の日本の天候

低温・寡照（北・東日本）、高温・少雨（南西諸島）

7月の天気概況

オホーツク海高気圧が月を通じて優勢で、北日本、東日本の太平洋側を中心に気温が低く、曇りや雨の日が連続した。また、太平洋高気圧の北への張り出しが弱かったため、梅雨前線が本州上や南岸で停滞し、東日本や西日本にかけても曇りや雨の日が多かった。北日本から西日本にかけては低温と日照不足の状態が続き、梅雨明けは平年に比べ大きく遅れた。一方、南西諸島は太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が多く、少雨の状態となった。

上旬：本州上に梅雨前線が停滞し、その前線上を低気圧が頻繁に通過した。オホーツク海高気圧の勢力範囲となった北日本や東日本では太平洋側を中心に気温が低く、曇りや雨の日が多かった。前線や低気圧の影響を受けた西日本でも曇りや雨の日が多く、南西諸島は西に張り出した太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かった。**旬平均気温**は北・東日本で低く、西日本で平年並、南西諸島で高かった。**旬降水量**は北日本、東日本太平洋側、西日本日本海側で多く、南西諸島で少なかった。**旬日照時間**は南西諸島で多く、北日本日本海側で平年並の他は少なかった。

中旬：梅雨前線は本州南岸に停滞し、西日本から北日本にかけての上空に寒気が南下しやすかったため西日本以北では気温が低く、曇りや雨の日が多くなった。南西諸島では太平洋高気圧の勢力下で晴れて気温の高い日が多かった。旬の後半に梅雨前線が北上し活発となったため九州では豪雨災害が発生した。**旬平均気温**は南西諸島で高かった他は低かった。**旬降水量**は東日本太平洋側、西日本で多く、北日本日本海側、南西諸島で少なかった。**旬日照時間**は南西諸島で平年並の他は少なかった。

下旬：オホーツク海高気圧が強く、上空の寒気が西日本まで南下しやすかったため南西諸島を除き、気温が低く曇りや雨の日が多かった。旬後半にはオホーツク海高気圧の勢力は弱まったものの、低気圧の通過などによりぐずついた天気が続いた。九州南部では梅雨前線の北上した22日頃に、九州北部から東海は北の高気圧に覆われて晴れた26日頃に梅雨明けとなった。北陸は27日頃梅雨明けした。**旬平均気温**は南西諸島で高かった他は低かった。**旬降水量**は北日本太平洋側、東日本、西日本日本海側で多く、南西諸島は少なかった。**旬日照時間**は北日本日本海側で平年並、南西諸島で多かった他は少なかった。

7月の気候統計

平均気温：九州南部の一部、南西諸島で平年を上回ったほかは、全国で平年を下回った。北海道、東北、関東甲信、北陸、近畿の日本海側、山陰では平年を2℃

以上下回ったところがあった。特に、北海道のオホーツク海側、東北の太平洋側の一部では平年を3℃以上下回ったところがあった。

降水量：北日本の太平洋側、東日本、西日本の日本海側で平年を上回った。特に、東北の太平洋側、中国、九州北部では平年の170%以上となったところがあった。北海道、九州南部、南西諸島では平年を下回った。特に南西諸島では平年の20%以下のところがあった。

日照時間：北海道の日本海側、南西諸島で平年を上回ったほかは、全国で平年を下回った。東北の太平洋側、関東甲信、北陸、近畿の日本海側、山陰では平年の40%以下のところがあった。

(気象庁観測部統計室)

7月の記録（1位更新のみ）

月平均気温高い方から（℃）

名瀬 29.7 久米島 29.7 (他タイ記録3地点)

月平均気温低い方から（℃）

仙台 18.4 金沢 22.8 広島 24.7 他8地点 (他タイ記録3地点)

月降水量多い方から（mm）

大船渡 553.5 巖原 854.0

月降水量少ない方から（mm）

宮古島 8.0 沖永良部島 4.5

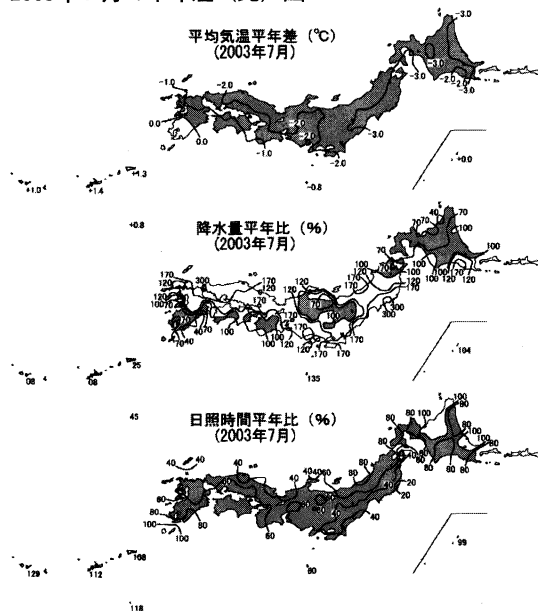
月間日照時間多い方から（時間）

与那国島 330.6 西表島 337.9

月間日照時間少ない方から（時間）

宮古 25.7 東京 48.2 京都 72.5 他23地点 (他タイ記録1地点)

2003年7月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す